Canon

EOS-1D X

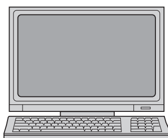
有線LAN使用説明書



使用説明書

EOS-1D Xの有線LAN機能を使用して、下記のことを行うことができます。

有線LAN機能



FTP転送

FTP サーバーへの画像転送



EOS Utility

EOS Utilityでリモート撮影と画像の閲覧／取り込み



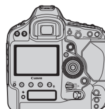
WFTサーバー

Webブラウザーでリモート撮影と画像の閲覧／取り込み

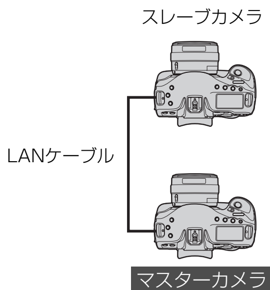


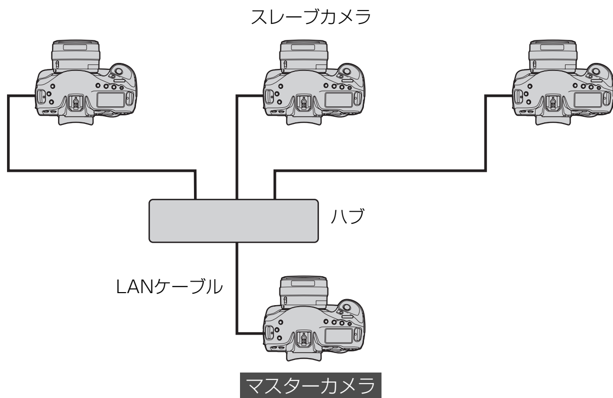
メディアサーバー

DLNA 対応テレビなどで画像を閲覧



カメラ間時刻同期機能





本使用説明書上のおことわり

- 本書は、有線LANとFTPサーバーに関する設定が完了していることを前提に説明を行っています。これらの設定方法については、お使いの機器の各メーカーへお問い合わせください。
- 本文中の［　］内の語句は、パソコン画面上に表示されるボタン名称や、アイコン名称などを示しています。また、カメラのメニューに表示される内容を示しています。
- 本文中の（p.＊＊）の＊＊部は、参照ページを示しています。
- カメラの操作については、カメラの使用説明書をお読みになり、操作方法を理解していることを前提に説明しています。
- 本文中の以下のマークの付いた欄は、それぞれ次のような内容について説明しています。

　: 使用する際に不都合が生じるおそれのある注意事項が書かれています。

　: 基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書かれています。

本機で画像転送やリモート撮影、画像の閲覧などを行うためには、有線LANとFTPサーバーの設定方法に関する十分な知識が必要です。
有線LANとFTPサーバーの設定方法に対して、弊社ではサポートできませんので、あらかじめご了承ください。
本機を使用するために、FTPサーバーを含むネットワークに対して、誤った設定を行った結果生じた損害に対して、弊社では補償できませんので、あらかじめご了承ください。また、本機を使用した結果生じた損害に対しましても、弊社では補償できませんので、併せてご了承ください。

章目次

目　次

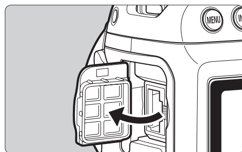


1

ネットワークの基本設定

カメラのメニュー画面に表示される接続操作ガイドを使用して、ネットワークの基本設定を行います。

LANケーブルの接続



LANケーブルを接続する

- Ethernet用RJ-45端子のカバーを開けて、LANケーブルを接続します。

LANケーブルについて

LANケーブルは、ギガビット対応でシールド性能の高い、カテゴリー5e以上のSTP（Shielded Twisted Pair）ケーブルを使用してください。

事前準備

[FTP転送]、[EOSUtility]、[WFTserver]

接続操作ガイドでは、すでに構築されている有線LANのネットワークに接続する操作を行います。

あらかじめ、EOS-1D Xが有線LANでパソコンに接続できる状態にしておいてください。

[MediaServ.]（メディアサーバー）

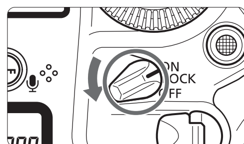
DLNA*対応のテレビやフォトフレームなどのメディアプレーヤーを用意し、EOS-1D Xを接続するだけで使用できる状態にしておいてください。

*Digital Living Network Allianceの略

接続ウィザードを表示する

この項では、接続操作ガイドの流れに沿って説明します。途中、エラーが表示されたときは、8章の「トラブルシューティング」(p.83)を参照して、設定内容を見直してください。

- 接続操作ガイドでの設定中にシャッターボタンなどを押すと、接続操作ガイドが終了しますので、設定が終わるまでシャッターボタンなどを押さないよう注意してください。
- [¥2] タブの [**オートパワーオフ**] は、[**切**] に設定してください。オートパワーオフ機能が働くと、接続操作ガイドが途中で終了します。



1 カメラの電源スイッチを入れる



2 通信機能のメニューを表示する

- カメラの〈MENU〉ボタンを押します。
- [¥3] タブの [**通信機能の設定**] を選び〈SET〉を押します。



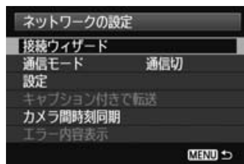
3 [通信機能] を選ぶ

- [**通信機能**] の [**使う**] を選び〈SET〉を押します。

➡ [**ネットワークの設定**] が選択できるようになります。

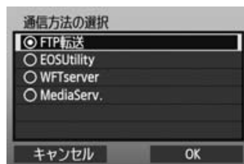


4 [ネットワークの設定] を選ぶ



5 ［接続ウィザード］を選ぶ

➡ ［**通信方法の選択**］画面が表示されます。



➡ カメラの〈**LAN**〉ランプが点滅します。

通信方法とLANの種類を選ぶ

通信方法を選ぶ



- 〈◎〉を回して通信方法を選び、〈SET〉を押します。
- ［OK］を選び〈SET〉を押すと次の画面に進みます。

●FTP転送

撮影した画像をFTPサーバーに転送するときに選びます。

撮影時に自動転送できるほか、撮影後に画像を選択して転送することもできます。

使用できるパソコンのOSについて

［**FTP転送**］を使用するためには、以下のOSがインストールされたパソコンが必要です。また、そのパソコンをあらかじめFTPサーバーとして機能させておく必要があります。

- ・Windows 7（Professional/Enterprise/Ultimate の32bit/64bitシステム用）
- ・Windows Vista（Business/Enterprise/Ultimateの32bit/64bitシステム用）
- ・Windows XP Professional
- ・Mac OS X 10.6、10.7

パソコンをFTPサーバーとして機能させる方法については、お使いの機器の各メーカーへお問い合わせください。

以下のOSはFTPサーバー機能がないため、FTP転送はできません。

- ・Windows 7 Home Premium
- ・Windows Vista Home Premium/Home Basic Edition
- ・Windows XP Home Edition

●EOS Utility

カメラに付属しているソフトウェアEOS Utilityで行うリモート撮影を、有線LANで行うときに選びます。

USBケーブルの代わりに有線LANを利用する仕組みなので、リモート撮影だけでなく、EOS Utilityで行うことができるすべてのカメラ操作が可能です。

EOS-1D Xに付属しているソフトウェアのEOS Utilityがインストールされたパソコンが必要です。

●WFTserver

EOS-1D Xのサーバー機能を利用したリモート撮影を、有線LANで行うときに選びます。

また、カメラにセットされたメモリーカード内の画像を閲覧して、パソコンに取り込むことができます。

Webのホームページにアクセスする感覚で、3台のパソコンがカメラにアクセスすることができます。

使用できるパソコンのOSについて

Webブラウザーを備えたパソコンであれば、OSを問わず使用することができます。

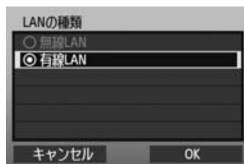
なお、Webブラウザーを備えていれば、パソコン以外の機器でも使用することができます。ただし、WebブラウザーがJavaスクリプトに対応していないときは、WFTServerの機能が制限されます。また、機器の性能によっては、映像の表示速度が遅かったり、画像を機器に取り込むことができない場合があります。

●MediaServ.（メディアサーバー）

カメラにセットされたメモリーカード内の画像を、有線LANを経由してテレビで閲覧するときに選びます。

この機能を利用するためには、DLNA対応のテレビやフォトフレームなどのメディアプレーヤーが必要です。

LANの種類を選ぶ



- ［**有線LAN**］が選択されていることを確認し、〈SET〉を押します。
- ［**OK**］を選び〈SET〉を押すと次の画面に進みます。

ネットワークを設定する



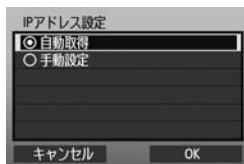
● 〈◎〉を回してネットワークの内容を選び、〈SET〉を押します。
● [OK] を選び〈SET〉を押すと次の画面に進みます。

[自動設定]

● [**手動設定**] で行う設定を自動的に行うことができます。ただし、DHCPサーバーやDHCPサーバー機能を持つルーターを使用している環境で、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっている必要があります。
なお、IPアドレスなどが自動的に割り当てられる設定になっているにも関わらずエラーが表示されるときは、[**手動設定**] を選んでください。

[手動設定]

[**手動設定**] を選ぶと [**IPアドレス設定**] の画面が表示されます。[**自動設定**] でエラーが表示されたときは、IPアドレスを手動設定してください。なお、IPアドレスは、カメラに割り当てるIPアドレスを設定します。



表示される画面にしたがって [**IPアドレス**]、[**サブネットマスク**]、[**ゲートウェイ**]、[**DNSアドレス**] を設定します。

設定する内容がわからない場合は、97ページの「ネットワークの設定を確認する」を参照するか、ネットワーク管理者、またはネットワークに詳しい方に問い合わせてください。

● IP アドレスやサブネットマスクなどの数値を入力するときは、〈SET〉を押して入力場所を選択し、〈◎〉を回して数値を入力します。



通信方法に応じた設定を行う

ここからは、下記のようにFTP転送、EOS Utility、WFTサーバー、メディアサーバーの各通信方法に応じた設定画面になります。選択した通信方法の説明ページをお読みください。

FTP転送



2章（p.21）

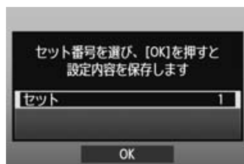
EOS Utility



3章（p.43）

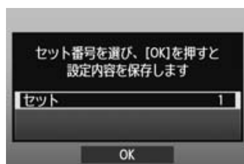
Windows 7とWindows Vistaをお使いの方へ
43ページからの操作を行う前に、以下の操作を行ってください。この操作を行わないと、44ページで説明している「WFTペアリングソフト」が起動しない場合があります。
［C］ドライブ → ［Program Files］ → ［Canon］ → ［EOS Utility］ → ［WFTPairing］フォルダの順に開き、［WFT FirewallSettings］アイコンをダブルクリックします。この操作を行ってから43ページの操作を行ってください。

WFTserver（WFTサーバー）



4章（p.49）

MediaServ.（メディアサーバー）



5章（p.65）

仮想キーボードの操作方法について

仮想キーボードは、サーバー名などの入力時に表示されます。



入力エリアの切り換え

〈Q〉ボタンを押すと、入力エリアが交互に切り換わります。

カーソルの移動

〈◎〉を回すとカーソルが移動します。
〈✣〉でも移動できます。

文字の入力

下側の入力エリアで〈◎〉を回してカーソルを移動し、〈SET〉を押して文字を入力します。
〈✣〉でも移動できます。
画面右上の「*/32」で、入力した文字数を確認することができます。

文字の削除

入力を間違えたときは、〈🗑〉ボタンで消去します。

入力の終了

〈MENU〉ボタンを押すと、入力を確定して次の画面に進みます。

入力のキャンセル

〈INFO.〉ボタンを押すと、入力をキャンセルして前の画面に戻ります。

2

FTP サーバーへの画像転送

FTP転送では、撮影した画像を撮影時にFTPサーバーへ自動転送できるほか、撮影後にまとめて転送することができます。

FTP転送の通信設定を行う

この項では、1章からの続きを説明しています。



1
- 〈◎〉を回して［**アドレスの設定**］を選び、〈SET〉を押します。



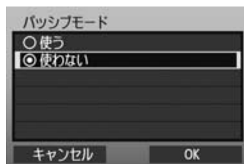
2
- DNSサーバーを［**使わない**］設定のときは、左の画面が表示されます。
- 〈SET〉を押して入力場所を選択し、〈◎〉を回してFTPサーバーのIPアドレスを入力します。



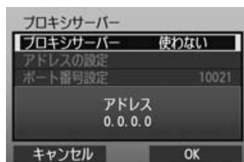
- DNSサーバーのIPアドレスを［**自動取得**］、または［**手動設定**］としているときは、左の画面が表示されます。
- 画面の操作は、「仮想キーボードの操作方法について」（p.20）を参照してください。
- FTPサーバーのサーバー名、またはIPアドレスを設定します。



3
- ［**ポート番号設定**］は、通常00021を設定します。
- 〈◎〉を回して［**OK**］を選び、〈SET〉を押すと次の画面に進みます。



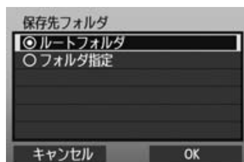
4
- ［**パッシブモード**］の設定を行います。
- 手順8で「エラー 41：FTPサーバーに接続できません」が表示されたときは、［**パッシブモード**］を［**使う**］設定にすると解決することがあります。



5
- ［**プロキシサーバー**］の設定を行います。
- 〈◎〉を回して［**OK**］を選び、〈SET〉を押すと次の画面に進みます。



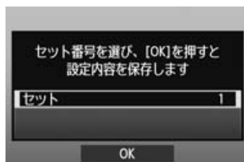
6
- ［**ログオン方法**］の設定を行います。
- 〈◎〉を回して［**OK**］を選び、〈SET〉を押すと次の画面に進みます。



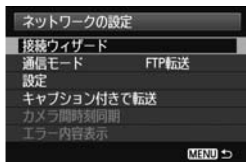
7
- ［**保存先フォルダ**］の設定を行います。
- ［**ルートフォルダ**］を選択すると、FTPサーバーで設定したルートフォルダの中に保存されます。（p.42）
- ［**フォルダ指定**］を選択すると、ルートフォルダの中にある保存先フォルダを指定することができます。フォルダがないときは、自動作成されます。
- 〈◎〉を回して［**OK**］を選び、〈SET〉を押すとFTPサーバーに接続します。



8
- 表示される確認画面で［OK］を選び、〈SET〉を押します。
- ➡ カメラの〈LAN〉ランプが緑色に点灯します。



9
- 〈SET〉を押して〈◎〉を回し、セット番号を選択して〈SET〉を押します。
- 〈◎〉を回して［OK］を選び、〈SET〉を押すと接続ウィザードが終了してメニュー画面に戻ります。



これでFTP転送のネットワーク設定は完了です。
画像転送中は、カメラの〈LAN〉ランプが緑色に点滅します。

撮影時に自動転送する

撮影した画像をすぐにFTPサーバーへ自動転送します。なお、転送中も通常どおり静止画撮影を行うことができます。

必ずメモリーカードを入れて撮影してください。画像が記録されない状態で撮影すると、画像が転送されません。

動画は撮影時に自動転送できません。撮影後、30～38ページで説明している方法で転送してください。

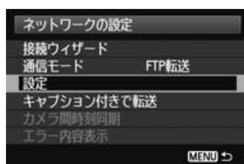


1 **[通信機能の設定] を選ぶ**

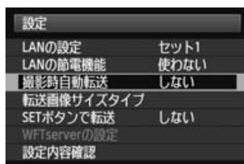


2 **[ネットワークの設定] を選ぶ**

- [**通信機能**] を [**使う**] に設定すると、[**ネットワークの設定**] が選択できるようになります。



3 **[設定] を選ぶ**



4 ［撮影時自動転送］を選ぶ

● ［**する**］を選びます。



5 撮影する

➡ 撮影した画像が FTP サーバーに転送されます。

撮影可能枚数

約［枚］

常温（23℃）	低温（0℃）
950	740

* フル充電のLP-E4N使用時。
* ［**LANの節電機能：使う**］
* CIPA（カメラ映像機器工業会）の試験基準による。



● 連続撮影したときは、撮影した順にFTPサーバーへ画像が転送されます。
● 撮影した画像は、メモリーカードにも記録されます。
● 転送が中断した画像や、転送に失敗した画像は、通信状態が回復すると、自動的に再転送されます（p.28）。なお、あとからまとめて再転送することもできます（p.34）。

転送する画像のサイズとタイプを設定する

撮影時自動転送では、「カード1とカード2に異なるサイズの画像が記録されたとき」や「RAW画像とJPEG画像が同時記録されたとき」に、どちらの画像を転送するかを設定することができます。

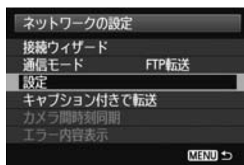


1 [通信機能の設定] を選ぶ

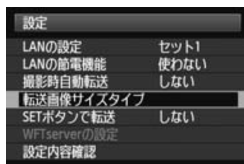


2 [ネットワークの設定] を選ぶ

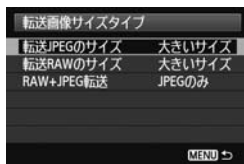
- [**通信機能**] を [**使う**] に設定すると、[**ネットワークの設定**] が選択できるようになります。



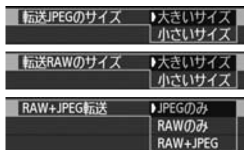
3 [設定] を選ぶ



4 [転送画像サイズタイプ] を選ぶ



5 転送する画像のサイズとタイプを選ぶ



- カード1とカード2の一方にJPEGラージを、もう一方のカードにJPEGスモールを記録する設定で、JPEGスモールの方を転送したいときは、「転送JPEGのサイズ：小さいサイズ」に設定します。
- カード1とカード2の一方にRAWを、もう一方のカードにJPEGを記録する設定のときは、[**RAW+JPEG転送**] の設定で転送する画像を決めます。メモリーカード1枚にRAW+JPEG同時記録を行うときも同様に設定します。
- 同じ画像サイズの画像がカード1とカード2に同時記録される場合は、記録画質（圧縮率）に関係なく、カード1に記録される画像が転送されます。

転送失敗画像の自動再転送について



転送に失敗すると、カメラの〈LAN〉ランプが赤色に点滅します。この場合は、〈MENU〉ボタンを押して［🔧3］タブの［**通信機能の設定**］を選び、〈SET〉を押してください。左図の画面が表示されますので、エラー番号を確認し、84ページを参照してエラーの原因を取り除いてください。

エラーの原因が取り除かれると、転送に失敗した画像が自動的に再転送されます。この自動再転送機能は、撮影時自動転送のときだけでなく、撮影後の画像をFTP転送するときも働きます。なお、転送をキャンセルしたり、カメラの電源を切った時は、自動再転送されません。34ページを参照して転送してください。

節電機能を使う

設定	
LANの設定	セット1
LANの節電機能	使わない
撮影時自動転送	しない
転送画像サイズタイプ	
SETボタンで転送	しない
WFTserverの設定	
設定内容確認	

- メニューの［**通信機能の設定**］→［**ネットワークの設定**］→［**設定**］→［**LANの節電機能**］で設定します。
- ［**使う**］に設定すると、FTP転送後、FTPサーバーからログオフして有線LANを休止します。画像転送が行われる状態になると、自動的に有線LANを起動してFTPサーバーに再接続します。

1枚ずつ転送する

画像を選び、〈SET〉を押すだけで転送することができます。また、キャプション（見出し）を付けて画像を転送することができます。なお、転送中も通常どおり静止画撮影を行うことができます。

再生して転送する

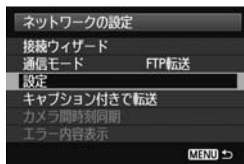


1 ［通信機能の設定］を選ぶ

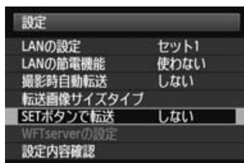


2 ［ネットワークの設定］を選ぶ

- ［**通信機能**］を［**使う**］に設定すると、［**ネットワークの設定**］が選択できるようになります。



3 ［設定］を選ぶ



4 ［SETボタンで転送］を選ぶ

● ［**する**］を選びます。



5 画像を選ぶ

● カメラの〈▶〉ボタンを押します。

● 転送する画像を選び、〈SET〉を押すとその画像が転送されます。

● **動画は転送できません。動画を選んで〈SET〉を押すと、動画再生パネルが表示されます。**

キャプション付きで転送する

登録したキャプションを画像に付加して、1枚ずつ転送することができます。印刷する枚数などを画像転送先に伝えたいときなどに便利です。なお、カメラに保存された画像にもキャプションが付加されます。

キャプションの作成／登録方法は、100ページを参照してください。

画像に付加されたキャプションは、Exif情報のユーザーコメント欄で確認することができます。

1 撮影する

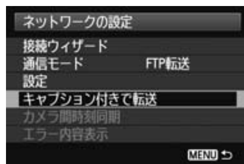


2 ［通信機能の設定］を選ぶ



3 ［ネットワークの設定］を選ぶ

- ［**通信機能**］を［**使う**］に設定すると、［**ネットワークの設定**］が選択できるようになります。



4 ［キャプション付きで転送］を選ぶ

➡ 最後に撮影された画像が表示されます。



- ［**キャプション付きで転送**］画面では、画像を任意に選択することはできません。ほかの画像をキャプション付きで転送するときは、その画像を再生してからこの操作を行ってください。



5 キャプションを選ぶ

- 〈◎〉を回して［**キャプション**］の枠を選び、〈SET〉を押します。
- 〈◎〉を回してキャプションの内容を選び、〈SET〉を押します。



6 画像を転送する

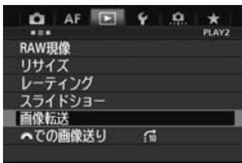
- 〈◎〉を回して［**転送**］を選び、〈SET〉を押します。

まとめて転送する

撮影後に、複数の画像を任意に選択しての転送や、未転送画像、転送失敗画像の一括転送を行うことができます。

なお、転送中も通常どおりに静止画撮影を行うことができます。

画像を任意に選択して転送する



1 [▶2] タブの [画像転送] を選ぶ



2 [画像選択／転送] を選ぶ



3 [画像選択] を選ぶ

➡ 画像が表示されます。



4 転送する画像を選ぶ

- 〈SET〉を押して〈○〉を回し、転送する画像の左上に〈✓〉を表示させます。
- 〈SET〉を押すと確定します。
合計9999画像まで選択できます。
- 〈Q〉ボタンを押しながら〈⚙〉を左に回すと3枚表示になります。〈Q〉ボタンを押しながら〈⚙〉を右に回すと1枚表示に戻ります。



- 転送する画像の選択が終わったら〈MENU〉ボタンを押します。



5 画像を転送する

- ［FTP転送］を選びます。
- 表示される確認画面で［OK］を選びます。
- ➡ 転送状態を示す画面が表示されます。



[RAW+JPEG転送] について



34ページの手順2で [**RAW+JPEG転送**] を選ぶと、RAW+JPEG同時記録で撮影した画像を、どちらか一方、または両方転送することができます。

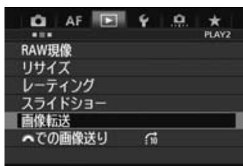
[**画像選択**] [**■選択**] [**全画像**] のどの画像選択方法でも有効です。

画像転送中のメニュー操作について

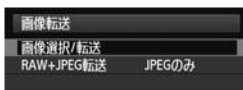
画像転送中もメニュー操作を行うことができますが、画像転送に不都合を及ぼす [**通信機能の設定**]、[**画像プロテクト**]、[**画像消去**]、[**カード初期化**]、[**記録機能とカード・フォルダ選択**] などのメニュー項目は操作できないようになっています。

撮影後に画像転送している途中で動画撮影すると、その間、画像転送が中断されます。

フォルダ内の画像を一括転送する



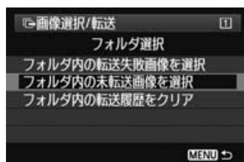
1 **[▶2] タブの [画像転送] を選ぶ**



2 **[画像選択／転送] を選ぶ**



3 **[選択] を選ぶ**



4 **[フォルダ内の未転送画像を選択] を選ぶ**

- 転送に失敗した画像を転送するときは、[**フォルダ内の転送失敗画像を選択**] を選びます。



5 **フォルダを選択する**



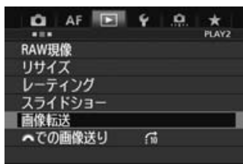
6 **画像を転送する**

- [**FTP転送**] を選びます。
- 表示される確認画面で [**OK**] を選びます。
- ➡ 転送状態を示す画面が表示されます。



[**フォルダ内の転送履歴をクリア**] を選ぶと、選択したフォルダに入っている画像の転送履歴が「未転送」になります。この操作をしたあとで [**フォルダ内の未転送画像を選択**] を選ぶと、フォルダ内の全画像を再転送することができます。

メモリーカード内の画像を一括転送する



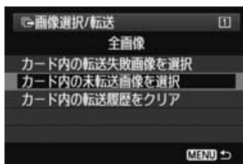
1 ［▶2］タブの［画像転送］を選ぶ



2 ［画像選択／転送］を選ぶ



3 ［全画像］を選ぶ



4 ［カード内の未転送画像を選択］を選ぶ

- 転送に失敗した画像を転送するときは、［**カード内の転送失敗画像を選択**］を選びます。



5 画像を転送する

- ［**FTP転送**］を選びます。
- 表示される確認画面で［**OK**］を選びます。
- ➡ 転送状態を示す画面が表示されます。



［**カード内の転送履歴をクリア**］を選ぶと、メモリーカードに入っている画像の転送履歴が「未転送」になります。この操作をしたあとで［**カード内の未転送画像を選択**］を選ぶと、カード内の全画像を再転送することができます。

転送履歴を確認する

1画像ずつ転送履歴を確認する

［**画像選択**／**転送**］で［**画像選択**］を選ぶと、転送履歴を確認することができます。



未選択画像（マークなし）



転送する画像



転送失敗画像



転送済み画像

メモリーカード単位で確認する



［**画像選択/転送**］で表示される画面は、これから転送する画像の枚数のほかに、メモリーカードに入っている画像のうち、［**転送失敗画像**］、［**転送済み画像**］が何枚あるかという転送履歴を確認することができます。

転送された画像を見る

FTPサーバーに転送された画像は、FTPサーバーで設定した下記のフォルダに保存されています。

Windows

- FTPサーバーを初期設定で使用しているときは、［Cドライブ］→［Inetpub］フォルダ→［ftproot］フォルダの中に画像、または画像が保存されているフォルダが入っています。
- FTPサーバーの設定で転送先のルートフォルダが変更されているときは、FTPサーバーの管理者に問い合わせてください。

Macintosh

- ［Macintosh HD］→［ユーザ］フォルダを開きます。ログオンしているユーザーのフォルダの中に画像、または画像が保存されているフォルダが入っています。

画像が保存されているフォルダについて

初期設定では、FTPサーバーで設定したルートフォルダの中に、「A/DCIM/100EOS1D」というようなフォルダ階層を自動作成して画像を保存します。

なお、記録・再生メディアがカード1のときは「**A**/DCIM/100EOS1D」、カード2のときは「**B**/DCIM/100EOS1D」というように、フォルダ階層を自動作成して画像を保存します（カード1の画像はAフォルダ、カード2の画像はBフォルダに振り分けます）。

3

EOS Utilityで リモート撮影

EOS Utilityで行うリモート撮影を、有線LANで行うことができます。USBケーブルの代わりに有線LANを利用する仕組みなので、リモート撮影だけでなく、EOS Utilityで行うことができるすべてのカメラ操作（ファームウェアのアップデートは除く）が可能です。


Mac版のEOS Utilityは、有線LAN機能と連携して使用することができません（2011年11月時点）。
最新の対応状況につきましては、弊社ホームページでご確認ください。

EOS Utilityの通信設定を行う

この項では、1章からの続きを説明しています。

EOS Utilityでは、カメラに付属のソフトウェア「WFTペアリングソフト」を使用してパソコンに接続します。

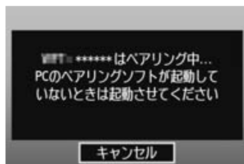
「WFTペアリングソフト」は、カメラの付属ソフトウェアを「おまかせインストール」している場合、自動的にインストールされています。インストールされていないときは、EOS-1D Xが接続するパソコンに、あらかじめインストールしておいてください。

ここでは、Windows 7の場合を例にして説明しています。



1

- ペアリングの画面が表示されます。
- 〈◎〉を回して［OK］を選び、〈SET〉を押すと下記のメッセージ画面が表示されます。なお、「******」は、接続しようとしているEOS-1D XのMACアドレス下6桁です。



2 ● ペアリングソフトを起動します。
● 通常は、EOS Utilityと同じ場所にインストールされています。



➡ ペアリングソフトが起動すると、タスクバーにアイコンが表示されます。
➡ カメラを検出すると、メッセージが表示されます。





3 ● ペアリングソフトのアイコンをダブルクリックします。

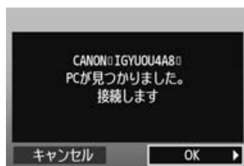
➡ 検出されたカメラの一覧が表示されます。すでに接続されているカメラがある場合、そのカメラは一覧の中に表示されません。



● ［**接続**］を押します。

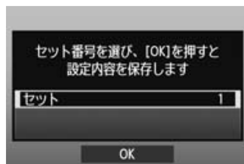
● 複数のカメラが表示されるときは、［**MACアドレス**］、または［**IPアドレス**］で接続するカメラを特定します。

● ［**MAC アドレス**］と［**IP アドレス**］は、メニューの［**設定内容確認**］（p.70）で確認できます。



4 ● 手順３で［**接続**］操作をしたパソコンが見つかると、左記の表示になります。

● 〈◎〉を回して［**OK**］を選び、〈SET〉を押します。



5 ● 〈SET〉を押して〈◎〉を回し、セット番号を選択して〈SET〉を押します。
● 〈◎〉を回して［**OK**］を選び、〈SET〉を押すと接続ウィザードが終了して､EOS Utilityが起動します。
➡ カメラの〈**LAN**〉ランプが緑色に点灯します。

これでEOS Utilityのネットワーク設定は完了です。

● 一度ペアリングを行った「カメラとパソコンの組み合わせ」で、設定を変えずに使い続ける場合、次回からはペアリングを行う必要はありません。
次回使うときは、カメラの電源スイッチを入れて、ペアリングソフトを起動するだけで、カメラとパソコンの接続が自動的に行われます。
● ペアリングソフトは、スタートアップメニューに登録することができます。EOS Utilityの［**環境設定**］→［**基本設定**］タブの、［□**WFTペアリングソフトをスタートアップに登録する**］にチェックを入れてください。

EOS Utilityを使う

EOS Utilityの操作方法については、ソフトウェア使用説明書（PDF）を参照してください。USB接続のときと同様に、EOS Utilityの機能を制限なく使用することができます。



 有線LANの通信速度によっては、動きのある被写体を滑らかに表示できないことがあります。

4

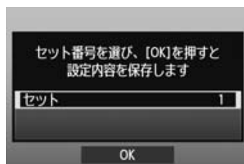
WFT サーバーで リモート撮影

Web ブラウザーを利用して、カメラにセットされたメモリーカード内の画像を閲覧して、パソコンに取り込むことができます。

また、リモート撮影を、有線LANで行うことができます。なお、バルブ撮影、ミラーアップ撮影と動画撮影はできません。

WFTサーバーの通信設定を行う

この項では、1章からの続きを説明しています。



- 〈SET〉を押して〈◎〉を回し、セット番号を選択して〈SET〉を押します。
- もう一度〈SET〉を押すと接続ウィザードが終了してメニュー画面に戻ります。
- ➡ カメラの〈LAN〉ランプが緑色に点灯します。



アカウントを設定する

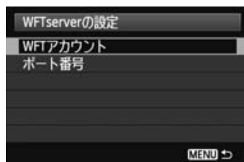
パソコンからカメラに接続するための、ログオン名とパスワードを設定します。ここで設定したログオン名とパスワードは、パソコンからカメラに接続する際に使用します。



1
- 〈◎〉を回して［**設定**］を選び、〈SET〉を押します。

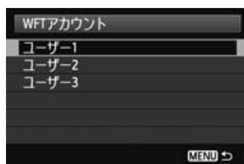


2 ● 〈◎〉を回して［**WFTserverの設定**］を選び、〈SET〉を押します。



3 ● 〈◎〉を回して［**WFTアカウント**］を選び、〈SET〉を押します。

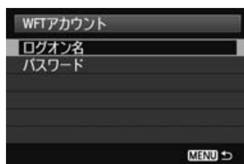
● ポート番号を変更するときは、〈◎〉を回して［**ポート番号**］を選び、〈SET〉を押します。なお、通常、ポート番号（80）の変更は必要ありません。



4 ● ユーザー番号を選びます。

● WFTサーバーでは、カメラ1台に対し、パソコン3台が接続できます。複数のパソコンがカメラに接続するときは、重複しないユーザー番号を選びます。

● 〈◎〉を回して［**ユーザー***］を選び、〈SET〉を押します。



5 ● ［**ログオン名**］と［**パスワード**］を選ぶと、下記の入力画面が表示されます。

● 入力画面の操作は、「仮想キーボードの操作方法について」（p.20）を参照してください。





これでWFTサーバーのネットワーク設定は完了です。

WFTサーバーを表示する

Webブラウザーに EOS-1D X の操作画面「WFTサーバー」を表示します。あらかじめカメラとパソコンのLAN接続を確立しておきます。

1 Webブラウザーを起動する

- インターネットエクスプローラーなどのWebブラウザーを起動します。



2 URLを入力する

- URLの入力欄に、カメラに設定しているIPアドレスを入力します。
- 〈**Enter**〉キーを押します。



3 ［ログオン名］と［パスワード］を入力する

- 51ページで設定した［**ログオン名**］と［**パスワード**］を入力します。［**OK**］を押すとWFTサーバーの画面が表示されます。
- WebブラウザーがJavaスクリプト対応のときは、手順4左側の画面が表示されます。

  Javaスクリプト非対応のときは、メッセージ画面が表示されます。Javaスクリプトを使用しない選択をすると、手順4右側の、機能が限定された画面が表示されます。

4 言語を選択する

● 画面下側の言語を選択します。



Javaスクリプト対応



Javaスクリプト非対応



URL（IPアドレス）がわからないときは

メニューの［**設定内容確認**］（p.70）でURL（IPアドレス）が確認できます。

画像を閲覧する

カメラのメモリーカードに入っている画像を閲覧することができます。



1 ［閲覧］を押す

➡ 画像の閲覧画面が表示されます。

2 メモリーカードを選ぶ

- ［CF1］か［CF2］をクリックします。
- ［DCIM］フォルダをクリックし、画像の入っているフォルダを選択します。





3 画像を選ぶ

- 別の画像を見るときは、〈⏮ ◀ ▶ ⏭〉ボタンとページジャンプ機能を使います。
- WebブラウザーがJavaスクリプト対応のときは、1画面に表示するサムネイル画像の数を、右上のプルダウンで設定することができます。



4 パソコンに画像を取り込む

- サムネイル画像をクリックします。
- ➡ 画像が大きく表示されます。
- 〈 〉をクリックすると、画像をダウンロードすることができます。
- ［**戻る**］を押すと、画像閲覧画面に戻ります。



RAWと動画は本画像を表示できませんが、JPEGと同じ方法で画像をパソコンに取り込むことができます。

リモート撮影する［詳細撮影］

あらかじめ、カメラがライブビュー撮影できる状態にしておきます。なお、動画のリモート撮影はできません。
WebブラウザーがJavaスクリプト非対応のときは、63ページの「リモート撮影する」を参照してください。



1 ［詳細撮影］を押す

➡ 詳細撮影画面が表示されます。

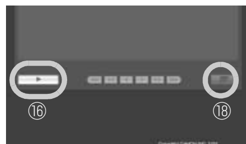


①	電池チェック
②	ドライブモード
③	撮影可能枚数
④	AFモード
⑤	レリーズボタン
⑥	AF/MF切り換えスイッチ
⑦	シャッター速度
⑧	絞り数値
⑨	ISO感度
⑩	露出補正
⑪	記録画質
⑫	撮影モード
⑬	ホワイトバランス
⑭	測光モード
⑮	メニュー
⑯	ライブビュー撮影ボタン
⑰	マニュアルフォーカスボタン
⑱	ライブビュー映像サイズ切り換えボタン
⑲	ライブビュー映像表示画面

* WFTサーバー側で設定変更できない機能は、画面上でグレー表示になります。

2 レンズのフォーカスモードスイッチを〈AF〉に設定する

- この状態で「⑤レリーズボタン」を押して、「離すと」AFが行われ撮影されます。
- ワンショットAFでは、ピントが合わないと撮影されません。次の手順以降の操作でライブビュー映像を表示して、手動ピント合わせで撮影することをおすすめします。



3 ライブビュー映像を表示する

- 「⑯ライブビュー撮影ボタン」を押します。
- ➡ 「⑥AF/MF切り換えスイッチ」が〈**MF**〉に設定され、ライブビュー映像が表示されます。
- ライブビュー映像が表示されないときは、「⑮メニュー」でライブビュー撮影ができる設定にしてください。
- ライブビュー映像の応答性を速くしたいときは、「⑱ライブビュー映像サイズ切り換えボタン」を押すと、ライブビュー映像が縮小され、応答性が速くなります。もう一度押すと元のサイズに戻ります。

4 手動でピントを合わせる

- 〈<<<〉〈<<〉〈<〉〈>〉〈>>〉〈>>>〉を押してピント合わせを行います。ライブビュー映像表示中は、AFでのピント合わせはできません。
- 〈<<<〉〈<<〉〈<〉は 近 距 離 側、〈>〉〈>>〉〈>>>〉は遠距離側にピントが移動します。
- ピントの移動量は3段階から選ぶことができます。
  〈<<<〉〈>>>〉: 大
  〈<<〉〈>>〉: 中
  〈<〉〈>〉: 小

5 撮影機能を設定する

- 記録画質などの項目をクリックするとその内容が表示され、設定を行うことができます。
- 必要な設定を行います。

6 撮影する

- 「⑤レリーズボタン」を押して、「離すと」撮影されます。
- ➡ 撮影した画像が表示されます。
- 撮影した画像は、カメラのメモリーカードに保存されます。
- パソコンに画像を取り込むときは、54ページの［**閲覧**］機能を利用します。

複数のパソコンがアクセスしている状態で撮影を行うと、ライブビュー映像の動きが止まることがあります。

リモート撮影する［簡易撮影］

あらかじめ、カメラがライブビュー撮影できる状態にしておきます。なお、動画のリモート撮影はできません。
Webブラウザーが Javaスクリプト非対応のときは、63ページの「リモート撮影する」を参照してください。



1 ［簡易撮影］を押す

➡ 簡易撮影画面とライブビュー映像が表示されます。



ライブビュー映像表示画面

マニュアルフォーカスボタン

〈<<<〉〈<<〉〈<〉：
近距離側にピントが移動

〈>〉〈>>〉〈>>>〉：
遠距離側にピントが移動

ピント移動量

〈<<<〉〈>>>〉：大

〈<<〉〈>>〉：中

〈<〉〈>〉：小

レリーズボタン



2 手動でピントを合わせる

- レンズのフォーカスモードスイッチは、〈AF〉に設定しておきます。
- 〈‹‹‹〉〈‹‹〉〈‹〉〈›〉〈››〉〈›››〉を押してピント合わせを行います。



3 撮影する

- レリーズボタンを押して、「離すと」撮影されます。
- ➡ 撮影した画像が表示されます。
- 撮影した画像は、カメラのメモリーカードに保存されます。
- パソコンに画像を取り込むときは、54ページの［**閲覧**］機能を利用します。

リモート撮影する

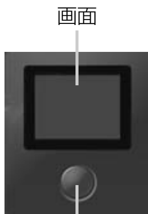
Webブラウザーがjavaスクリプト非対応のときのリモート撮影です。あらかじめ、カメラがライブビュー撮影できる状態にしておきます。なお、動画のリモート撮影はできません。



1 ［撮影］を押す

➡ 撮影画面が表示されます。
● ライブビュー映像は表示されません。

画面



レリーズボタン

2 撮影する

● レンズのフォーカスモードスイッチを〈**MF**〉にし、カメラ側でピント合わせを行います。
● レリーズボタンを押して、「離すと」撮影されます。
➡ 撮影した画像が表示されます。
● 撮影した画像は、カメラのメモリーカードに保存されます。



3 パソコンに画像を取り込む

- 画像をクリックします。
- ➡ 画像が大きく表示されます。
- 〈 〉をクリックすると、画像をダウンロードすることができます。
- ［**戻る**］を押すと、撮影画面に戻ります。



RAWは本画像を表示できませんが、JPEGと同じ方法で画像をパソコンに取り込むことができます。

5

メディアサーバーにする

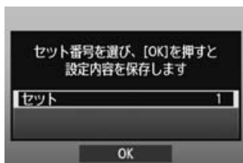
カメラにセットされたメモリーカード内の画像を、有線LANを経由してテレビで閲覧することができます。

この機能を利用するためには、DLNA*対応のテレビやフォトフレームなどのメディアプレーヤーが必要です。以降の説明では、メディアプレーヤーと総称しています。

* Digital Living Network Allianceの略

メディアサーバーの通信設定を行う

この項では、1章からの続きを説明しています。



- 〈SET〉を押して〈◎〉を回し、セット番号を選択して〈SET〉を押します。
- もう一度〈SET〉を押すと接続ウィザードが終了してメニュー画面に戻ります。



これでメディアサーバーのネットワーク設定は完了です。

撮影した画像をテレビに映す

メディアプレーヤーを操作して､カメラにセットされたメモリーカード内の画像をテレビに映します。なお、RAW画像と動画は映すことができません。

ここからの操作は、すべてメディアプレーヤーで行います。詳しいことは、メディアプレーヤーの使用説明書を参照してください。



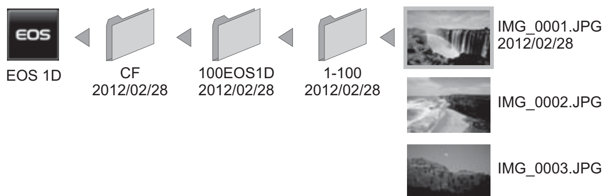
1 テレビにメディアプレーヤーの設定画面を表示する

- メディアプレーヤー機能を使用して、テレビに〈EOS EOS1D〉（メディアサーバー）アイコンを表示します。
- メディアプレーヤーによっては、別のアイコンが表示されることがあります。その場合は、「EOS1D」と表示されているアイコンを見つけてください。



2 〈EOS EOS1D〉（メディアサーバー）アイコンを選ぶ

- 〈EOS EOS1D〉アイコンを選ぶとメモリーカードが表示され、さらに選んでいくと、フォルダと画像が選択できます。
- 画像を選んで、テレビに大きく表示させることができます。詳しくはメディアプレーヤーの使用説明書を参照してください。



- テレビに表示される画像情報と内容は、メディアプレーヤーによって異なります。また、メディアプレーヤーによっては、画像情報が表示されない場合があります。
- 「1-100」などと表示されているアイコンは、選んだフォルダ（***EOS1D）に入っている画像を、ファイル番号別に分けたものです。
- 画像に表示される年月日は、画像に付加されているExif情報を元に表示しています。
- メモリーカードやフォルダに表示される年月日は、カメラに設定されている今日の日付けが表示されることがあります。

6

設定内容の確認／変更／保存／読み込み

設定内容を確認する

ネットワークの設定内容を確認することができます。

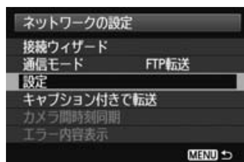


1 **［通信機能の設定］を選ぶ**

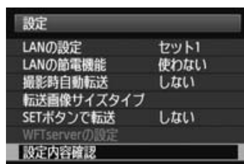


2 **［ネットワークの設定］を選ぶ**

- ［**通信機能**］を［**使う**］に設定すると、［**ネットワークの設定**］が選択できるようになります。



3 **［設定］を選ぶ**



4 **［設定内容確認］を選ぶ**

➡ 設定内容が表示されます。

FTP転送・有線LANの設定例

設定内容確認 1 (1-3)

基本設定

通信モード	FTP転送
LANの種類	有線LAN
MACアドレス	11:11:11:11:11:17
設定	セット1
セット名	

設定内容確認 2 (1-3)

TCP/IP

IPアドレス設定	自動取得
	0.0.0.0
サブネットマスク	0.0.0.0
ゲートウェイ	0.0.0.0
DNSサーバー	使わない
IPsec	使わない

設定内容確認 3 (1-3)

FTP転送

アドレス	192. 168. 1. 20
ログオン名	anonymous

設定内容を変更する

接続ウィザードで設定した内容を変更することができます。また、接続ウィザードでは設定できないIPセキュリティー（IPsec）の設定や、FTPサーバーに同名のファイルが転送されたときなどの設定を行うことができます。（p.73）

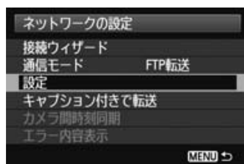


1 ［通信機能の設定］を選ぶ

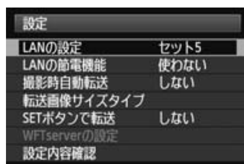


2 ［ネットワークの設定］を選ぶ

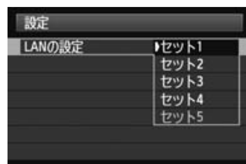
- ［**通信機能**］を［**使う**］に設定すると、［**ネットワークの設定**］が選択できるようになります。



3 ［設定］を選ぶ

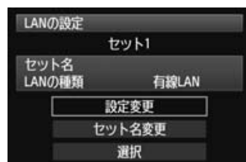


4 ［LANの設定］を選ぶ



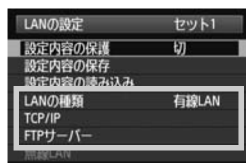
5 セット番号を選ぶ

● LANの設定を保存したセット番号を選びます。



6 [設定変更] を選ぶ

● [セット名変更] を選ぶと、セット名の入力と変更を行うことができます。



7 変更する項目を選ぶ

● [LANの種類]、[TCP/IP]、[FTPサーバー] の中から該当する項目を選び、内容を変更します。

IPsecについて

[TCP/IP] の [セキュリティー] で設定します。

インターネットで暗号化通信を行なうための規格で、無線/有線LAN共に有効なセキュリティー機能です。この機能を使うためには、パソコンのネットワーク設定でIPsec機能を有効にする必要があります。本機のIPsecは、トランスポートモードのみのサポートで、暗号方式は「3DES」または「AES」、認証方式は「SHA1」を使用しています。なお、設定画面の [接続先のアドレス] には、接続するパソコンのIPアドレスを設定してください。

転送先フォルダの階層について

［**FTPサーバー**］の［**転送先フォルダの階層**］で設定します。

［**カメラ**］を選択すると、転送先のルートフォルダ内に、カメラと同じ「A/DCIM/100EOS1D」というようなフォルダ階層を自動作成して、その中に画像を保存します。なお、［**転送先フォルダ**］の設定でルートフォルダの下にフォルダを作成しているときは、そのフォルダの中に「A/DCIM/100EOS1D」というようなフォルダ階層を自動作成して、その中に画像を保存します。

［**初期設定**］を選択すると、転送先のルートフォルダを開いたところに画像を保存します。なお、［**転送先フォルダ**］の設定でルートフォルダの下にフォルダを作成しているときは、そのフォルダの中に画像を保存します。

同名ファイルの上書きについて

［**FTPサーバー**］の［**同名ファイルの上書き**］で設定します。

同名ファイルの上書きをしない設定にしている場合

FTPサーバーの保存先フォルダに同名ファイルが存在する場合は、ファイル名の最後にアンダーバー付きの数字（例：IMG_0003_1.JPG）が付けられて保存されます。

転送失敗画像を再転送する場合

同名ファイルの上書きをする設定で、転送失敗画像を再転送すると、上書き保存されない場合があります。この場合は、ファイル名の最後にアンダーバー付きのアルファベットと数字（例：IMG_0003_a1.JPG）が付けられて保存されます。

パッシブモードについて

［**FTPサーバー**］の［**パッシブモード**］で設定します。

ネットワーク環境の中にファイアウォールが設置されているときに設定します。「エラー 41：FTPサーバーに接続できません」という状態のときに、パッシブモードを［**使う**］設定にすると、FTPサーバーに接続できることがあります。

設定内容が変更できないようにする



LANの設定内容を不用意に変更されたくないときは、［**設定内容の保護**］を［**入**］に設定します。

設定内容の保存と読み込み

　ネットワークの設定をメモリーカードに保存して、ほかのカメラに適用することができます。

設定内容を保存する

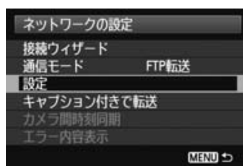


1 [通信機能の設定] を選ぶ

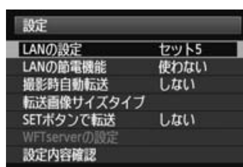


2 [ネットワークの設定] を選ぶ

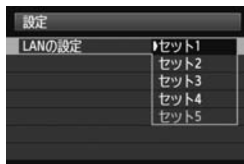
- [**通信機能**] を [**使う**] に設定すると、[**ネットワークの設定**] が選択できるようになります。



3 [設定] を選ぶ

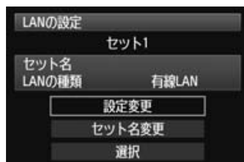


4 [LANの設定] を選ぶ

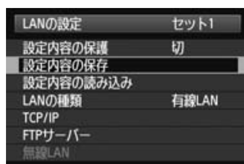


5 セット番号を選ぶ

- LANの設定を保存したセット番号を選びます。



6 [設定変更] を選ぶ



7 [設定内容の保存] を選ぶ



8 [保存] を選ぶ

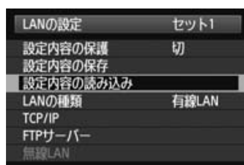
➡ メモリーカードに設定内容が保存されます。

- 設定内容のファイル「WFTNPF**.NIF」は、メモリーカードを開いたところ（ルートディレクトリ上）に保存されます。
- ファイル名は、WFTNPF01～99.NIFまでカメラが自動的に設定します。[**ファイル名を変更**] を選ぶと、ファイル名を任意に設定することができます。

設定内容を読み込む

メモリーカードに保存されている設定内容を読み込みます。

設定内容は、メモリーカードを開いたところ（ルートディレクトリ上）に保存しておいてください。



1 ［設定内容の読み込み］を選ぶ



2 設定ファイルを選ぶ

➡ 使用するネットワーク環境に合った設定ファイルを選びます。



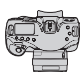
3 設定ファイルを読み込む

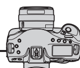
➡ 選択しているセット番号に、設定ファイルの内容が読み込まれます。

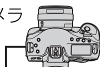
7

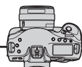
カメラ間時刻同期

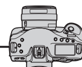
マスターカメラの時刻を、最大10台までのスレーブカメラに設定することができます。なお、時刻同期を行っても、マスターカメラとスレーブカメラの時刻誤差が最大±0.05秒生じます。



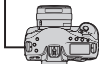












時刻を同期させる

手順1～5は、マスターカメラとスレーブカメラ共通の操作です。

EOS-1D X同士を直接LANケーブルで接続します。スレーブが複数のときは、ハブを介してLANケーブルで接続します。

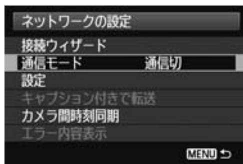


1 [🔧3]タブの[通信機能の設定]を選ぶ



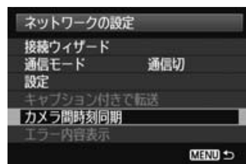
2 [ネットワークの設定] を選ぶ

- [通信機能] を [使う] に設定すると、[ネットワークの設定] が選択できるようになります。



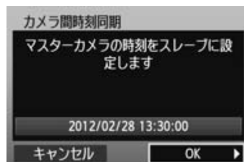
3 [通信モード] を [通信切] にする

- [通信モード] を [通信切] に設定すると、[カメラ間時刻同期] が選択できるようになります。



4 [カメラ間時刻同期] を選ぶ

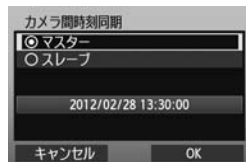
➡ 表示される下記の画面で [OK] を選びます。





5 [有線LAN] を選ぶ

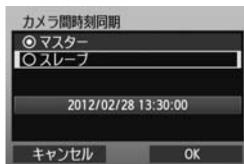
- [**有線LAN**] を選んで [**OK**] を選びます。
- ここまでは、マスターカメラとスレーブカメラ共通の操作です。



6 マスターカメラを準備する

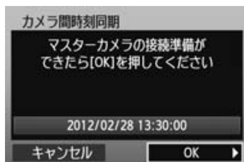
- マスターカメラに、手順1〜5を設定し、[**マスター**] を選びます。

➡ 表示される画面で待機し、次の手順7でスレーブカメラの準備を行います。

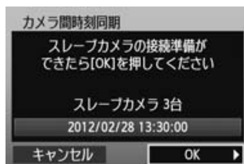


7 スレーブカメラを準備する

- スレーブカメラに、前ページの手順1～5を設定し、［**スレーブ**］を選びます。
- ➡ 表示される下記の画面で［**OK**］を選びます。



- 複数のスレーブカメラに時刻を設定するときは、すべてのスレーブカメラに対してこの操作を行ってください。手順8に示すマスターカメラの画面に、スレーブカメラの台数が表示されます。



8 マスターカメラで［OK］を選ぶ

- スレーブカメラの台数を確認し、［**OK**］を選びます。
- ➡ 時刻の同期が行われます。



- ［**OK**］を選ぶと［**ネットワークの設定**］画面に戻ります。

8

トラブルシューティング

エラー表示の対応

カメラの液晶モニターに有線LANのエラーが表示されたときは、この章の対応例を参考にしてエラーの原因を取り除いてください。エラー発生時は、カメラの〈LAN〉ランプが点滅します。なお、エラー内容は、[🔧3]タブの［**通信機能の設定**］→［**ネットワークの設定**］→［**エラー内容表示**］でも確認できます。

［再転送待機中...］が表示されたときは



FTP転送で撮影後の画像転送に失敗すると、左図の画面が表示されて、カメラの〈LAN〉ランプが赤色に点滅します。エラー番号を確認し、エラーの原因を取り除いてください。

エラーの原因が取り除かれると、転送に失敗した画像が自動的に再転送されます。

なお、転送をキャンセルしたり、カメラの電源を切った時は、自動再転送されません。34ページを参照して転送してください。

11：接続先が見つかりません

● ペアリングソフトは起動していますか？

➡ ペアリングソフトを起動させて、再度接続操作を行ってください（p.44）。

12：接続先が見つかりません

● 接続先のパソコンの電源は入っていますか？

➡ 接続先のパソコンの電源を入れてください。

21：DHCPサーバーからアドレスが割り当てられていません

カメラの確認内容

● カメラの設定がネットワーク［自動設定］、またはIPアドレス［自動取得］になっています。この設定で間違いありませんか?

➡ DHCPサーバーを使用していない場合は、カメラをネットワーク［**手動設定**］、またはIPアドレス［**手動設定**］にして設定を行ってください（p.17）。

DHCPサーバーの確認内容

● DHCPサーバーの電源は入っていますか？

➡ DHCPサーバーの電源を入れてください。

● DHCPサーバーから割り当てられるアドレスに余裕はありますか？

➡ DHCPサーバーが割り振るアドレスを増やしてください。

➡ DHCPサーバーからアドレスが割り振られている端末を、ネットワークから外して減らしてください。

● **DHCPサーバーは正常に機能していますか？**
➡ DHCPサーバーの設定を確認して、DHCPサーバーとして正常に機能しているか確認してください。
➡ ネットワーク管理者がいるときは、DHCPサーバーを使用できる状態にするよう依頼してください。

22：DNSサーバーから応答がありません

カメラの確認内容

● **カメラの設定がDNSアドレス［自動取得］、または［手動設定］になっています。この設定で間違いありませんか？**
➡ DNSサーバーを使用していない場合は、カメラをDNSアドレス［**使わない**］の設定にしてください（p.17）。
● **カメラに設定しているDNSサーバーのIPアドレスは合っていますか？**
➡ 使用するDNSサーバーと同じIPアドレスをカメラに設定してください（p.17、97）。

DNSサーバーの確認内容

● **DNSサーバーの電源は入っていますか？**
➡ DNSサーバーの電源を入れてください。
● **DNSサーバーにIPアドレスと、そのアドレスに対応する名前を正しく設定していますか?**
➡ DNSサーバーにIPアドレスと、そのアドレスに対応する名前を正しく設定してください。

● **DNSサーバーは正常に機能していますか？**

➡ DNS サーバーの設定を確認して、DNS サーバーとして正常に機能しているか確認してください。

➡ ネットワーク管理者がいるときは、DNSサーバーを使用できる状態にするよう依頼してください。

ネットワーク全体の確認内容

● **接続しようとしているネットワークに、ゲートウェイ機能を持つルーターなどが使用されていませんか？**

➡ ネットワーク管理者がいるときは、ネットワークのゲートウェイアドレスを聞いて、その内容をカメラに設定してください（p.17、97）。

➡ カメラを含むネットワーク機器すべてに、ゲートウェイアドレスを正しく設定してください。

23：IPアドレスが重複しています

カメラの確認内容

● **カメラと同じネットワークに接続している機器が、カメラと同じIPアドレスを使用していませんか？**

➡ カメラのIPアドレスを変更して、同じネットワークに接続している機器とIPアドレスが重複しないようにしてください。または、IPアドレスが重複している他の機器のIPアドレスを変更してください。

➡ DHCPサーバーを使用するネットワーク環境で、カメラがIPアドレス［**手動設定**］の設定になっているときは、IPアドレス［**自動取得**］の設定にしてください（p.17）。

24：プロキシサーバーから応答がありません

カメラの確認内容

- **カメラの設定がプロキシサーバー［使う］の設定になっています。この設定で間違いありませんか？**
- ➡ プロキシサーバーを使用していない場合は、プロキシサーバー［**使わない**］の設定にしてください（p.23）。
- **カメラに設定しているプロキシサーバーの［アドレスの設定］と［ポート番号］は、プロキシサーバーと同じ設定になっていますか？**
- ➡ プロキシサーバーと同じアドレス、ポート番号をカメラに設定してください（p.22）。
- **カメラの［プロキシサーバー］の設定で、［サーバー名］だけを設定していませんか？**
- ➡ カメラにプロキシサーバーの［**アドレス**］が設定されていないときは、DNSサーバーのアドレスも一緒に設定してください（p.17）。また、使用するプロキシサーバーのサーバー名とポート番号が、間違いなく設定されているか確認してください（p.22）。

プロキシサーバーの確認内容

- **プロキシサーバーの電源は入っていますか？**
- ➡ プロキシサーバーの電源を入れてください。
- **プロキシサーバーは正常に機能していますか？**
- ➡ プロキシサーバーの設定を確認して、プロキシサーバーとして正常に機能しているか確認してください。
- ➡ ネットワーク管理者がいるときは、プロキシサーバーのアドレス、またはサーバー名とポート番号を聞いて、その内容をカメラに設定してください。

ネットワーク全体の確認内容

- 接続しようとしているネットワークに、ゲートウェイ機能を持つルーターなどが使用されていませんか？

➡ ネットワーク管理者がいるときは、ネットワークのゲートウェイアドレスを聞いて、その内容をカメラに設定してください。

➡ カメラを含むネットワーク機器すべてに、ゲートウェイアドレスを正しく設定してください。

25：ほかの端末が、同じIPアドレスを設定しました

- カメラと同じネットワークに接続している機器が、カメラと同じIPアドレスを使用していませんか？

➡ このエラーは、カメラがネットワークに接続している状態で、ほかの機器がカメラと同じIPアドレスを設定してネットワークに接続してきたときに発生します。カメラのIPアドレスを変更して、同じネットワークに接続している機器とIPアドレスが重複しないようにしてください。または、IPアドレスが重複している他の機器のIPアドレスを変更してください。

26：DHCPサーバーから応答がありません

カメラの確認内容

- カメラの設定がネットワーク［**自動設定**］になっています。この設定で間違いありませんか？

➡ DHCPサーバーを使用していない場合は、カメラの設定をネットワーク［**手動設定**］にしてください（p.17）。

DHCPサーバーの確認内容

- **DHCPサーバーの電源は入っていますか？**
  ➡ DHCPサーバーの電源を入れてください。
- **DHCPサーバーにIPアドレスと、そのアドレスに対応する名前を正しく設定していますか?**
  ➡ DHCPサーバーにIPアドレスと、そのアドレスに対応する名前を正しく設定してください。
- **DHCPサーバーは正常に機能していますか？**
  ➡ DHCPサーバーの設定を確認して、DHCPサーバーとして正常に機能しているか確認してください。
  ➡ ネットワーク管理者がいるときは、DHCPサーバーを使用できる状態にするよう依頼してください。

ネットワーク全体の確認内容

- **接続しようとしているネットワークに、ゲートウェイ機能を持つルーターなどが使用されていませんか？**
  ➡ ネットワーク管理者がいるときは、ネットワークのゲートウェイアドレスを聞いて、その内容をカメラに設定してください(p.17)。
  ➡ カメラを含むネットワーク機器すべてに、ゲートウェイアドレスを正しく設定してください。

41：FTPサーバーに接続できません

カメラの確認内容

- **カメラに設定している FTP サーバーの IP アドレスは合っていますか？**

➡ FTPサーバーと同じIPアドレスをカメラに設定してください（p.22）。

- **カメラに設定しているFTPサーバー［ポート番号設定］は、FTPサーバーで設定しているポート番号と合っていますか？**

➡ ポート番号は通常21で、カメラ、FTPサーバーとも同じポート番号を設定します。FTPサーバーのポート番号をカメラに設定してください（p.22）。

- **カメラで行っている FTP サーバーの設定で、［サーバー名］だけを設定している場合、DNSサーバーの設定も行っていますか？**

➡ カメラにFTPサーバーの［**アドレス**］が設定されていないときは、DNSサーバーを使用する設定にして、DNSサーバーのアドレスをカメラに設定してください（p.17）。また、使用するFTPサーバーのサーバー名が、間違いなく設定されているか確認してください（p.22）。

FTPサーバーの確認内容

- **FTPサーバーは正常に機能していますか？**

➡ パソコンをFTPサーバーとして機能するよう設定してください。

➡ ネットワーク管理者がいるときは、FTPサーバーのアドレスとポート番号を聞いて、その内容をカメラに設定してください。

- **FTPサーバーの電源は入っていますか？**

➡ FTPサーバーの電源を入れてください。省電力モードで電源が切れている可能性もあります。

- **FTPサーバーに設定しているIPアドレスは、カメラに設定しているFTPサーバーの［アドレス］と合っていますか？**

➡ FTPサーバーに設定しているIPアドレスと、カメラに設定している FTP サーバーの IP アドレスを、同じ設定にしてください（p.22）。

- **セキュリティソフトウェアのファイアウォールを有効にしていませんか？**

➡ セキュリティソフトウェアによっては、ファイアウォールでFTPサーバーへの接続制限をかけている可能性があります。ファイアウォールの設定を変更して、FTPサーバーに接続できるようにしてください。

➡ カメラの設定で［**パッシブモード**］を［**使う**］にすると、FTPサーバーに接続できる場合があります（p.75）。

- **ブロードバンドルーターを介してFTPサーバーに接続していませんか？**

➡ ブロードバンドルーターによっては、ファイアウォールでFTPサーバーへの接続制限をかけている可能性があります。ファイアウォールの設定を変更して、FTPサーバーに接続できるようにしてください。

➡ カメラの設定で［**パッシブモード**］を［**使う**］にすると、FTPサーバーに接続できる場合があります（p.75）。

● Windows XP Service Pack 2以上をお使いの場合、[Windows ファイアウォール]でFTPサーバーに接続できない設定になっていませんか？

➡ Windows ファイアウォールを、FTP サーバーに接続できる設定にしてください。

ネットワーク全体の確認内容

● 接続しようとしているネットワークに、ゲートウェイ機能を持つルーターなどが使用されていませんか？

➡ ネットワーク管理者がいるときは、ネットワークのゲートウェイアドレスを聞いて、その内容をカメラに設定してください(p.17)。

➡ カメラを含むネットワーク機器すべてに、ゲートウェイアドレスを正しく設定してください。

42：FTPサーバーから接続を拒否されました

FTPサーバーの確認内容

● FTP サーバーが、特定の IP アドレスのみ接続を許可する設定になっていませんか？

➡ FTPサーバーの設定を変更して、カメラに設定しているTCP/IPの［IPアドレス］で接続できるようにしてください。

43：FTPサーバーに接続できません。サーバーからのリプライコードがエラーを示しています。

FTPサーバーの確認内容

● FTPサーバーで設定している最大接続数を超えて接続していませんか？

➡ FTPサーバーに接続しているネットワーク機器を少なくするか、FTPサーバーの設定で最大接続数を増やしてください。

44：FTPサーバーから切断できません。サーバーからのリプライコードがエラーを示しています。

- FTPサーバーに対する接続解除が、何らかの理由でうまくいかないときに表示されるエラーです。
  - ➡ FTPサーバーとカメラの電源を入れなおしてください。

45：FTPサーバーにログオンできません。サーバーからのリプライコードがエラーを示しています。

カメラの確認内容

- カメラに設定している［**ログオン名**］は正しいですか？
  - ➡ FTPサーバーにログオンするログオン名を確認してください。また、大文字、小文字の使い分けも確認して、正しいログオン名をカメラに設定してください（p.23）。
- カメラに設定している［**ログオン・パスワード**］は正しいですか？
  - ➡ FTP サーバーにログオン・パスワードが設定されているときは、大文字、小文字の使い分けも確認して、正しいログオン・パスワードをカメラに設定してください（p.23）。

FTPサーバーの確認内容

- FTPサーバーのファイルアクセス権は、読み取り／書き込み／ログアクセス可能な設定になっていますか？
  - ➡ FTPサーバーのファイルアクセス権を、読み取り／書き込み／ログアクセス可能な設定にしてください。
- FTPサーバーで転送先に指定されているフォルダの名称は、すべてASCII文字（p.20）で構成されていますか？
  - ➡ フォルダ名をASCII文字で構成してください。

46：データセッションに対し、FTPサーバーからのリプライコードがエラーを示しています

FTPサーバーの確認内容

- **FTPサーバーが接続を切断しました。**

➡ FTPサーバーを再起動してください。

- **FTPサーバーのファイルアクセス権は、読み取り／書き込み／ログアクセス可能な設定になっていますか？**

➡ FTPサーバーのファイルアクセス権を、読み取り／書き込み／ログアクセス可能な設定にしてください。

- **FTP サーバーの保存先フォルダにアクセス権を設定していませんか？**

➡ カメラから転送された画像が保存できるよう、FTPサーバーにある保存先フォルダのアクセス権を設定してください。

- **サーバーの電源は入っていますか？**

➡ サーバーの電源を入れてください。省電力モードで電源が切れている可能性もあります。

- **FTPサーバーのハードディスクがいっぱいになっていませんか？**

➡ ハードディスクの空き容量を増やしてください。

47：FTPサーバーから、画像ファイルの転送完了通知を取得できませんでした

- **FTPサーバーからの転送完了通知を、何らかの理由で受けられなかったときに表示されるエラーです。**

➡ FTPサーバーとカメラの電源を入れなおし、画像を再度転送してください。

73：時刻の同期に失敗しました

- **マスターカメラとスレーブカメラの接続操作を正しく行っていますか？**

➡ 正しい手順でマスターカメラとスレーブカメラを操作してください（p.80〜82）。

81：有線LANの接続が切れました

- **LANケーブルはしっかり接続されていますか？**

➡ カメラからサーバーにかけての LAN ケーブルを接続しなおしてください。また、ケーブルが断線している可能性もありますので、別のケーブルを接続してみてください。

- **ハブやルーターの電源は入っていますか？**

➡ ハブやルーターの電源を入れてください。

- **サーバーの電源は入っていますか？**

➡ サーバーの電源を入れてください。省電力モードで電源が切れている可能性もあります。

91：その他のエラー

- **エラー 11〜81以外の異常が発生しました。**

➡ カメラの電源スイッチを入れ直してください。

ネットワークの設定を確認する

Windows

Windowsの［**スタート**］ボタン→［**すべてのプログラム**］→［**アクセサリ**］→［**コマンドプロンプト**］を選びます。**ipconfig/all**と入力して、〈**Enter**〉キーを押します。

パソコンに割り当てられているIPアドレスのほかに、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバーの情報が表示されます。

なお、17ページでカメラに割り当てるIPアドレスを設定するときは、パソコンやほかのネットワーク接続機器とIPアドレスが重複しないよう、一番右側の数字を変えて設定します。

Macintosh

Mac OS Xの［**ターミナル**］を開き、**ifconfig -a**と入力して〈**Return**〉キーを押します。［**en0**］項目［**inet**］の ***.***.***.*** がパソコンに割り当てられているIPアドレスです。

なお、17ページでカメラに割り当てるIPアドレスを設定するときは、パソコンやほかのネットワーク接続機器とIPアドレスが重複しないよう、一番右側の数字を変えて設定します。

*［**ターミナル**］については、Mac OS Xのヘルプを参照してください。



9

資料

キャプションの作成と登録

「キャプション付きで転送する」(p.32) のページで説明した、キャプションを作成してカメラに設定します。キャプションの作成と登録は、EOS Utilityがインストールされたパソコンを使用して行います。

あらかじめ、カメラに付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続しておきます。カメラとパソコンをUSBケーブルで接続する方法と、EOS Utilityの起動方法は、カメラに付属のソフトウェア使用説明書（PDF）を参照してください。



1 EOS Utilityを起動して［カメラの設定／リモート撮影］を選ぶ

➡ カメラの設定／リモート撮影画面が表示されます。





2 [🔧]タブの[WFTキャプション]を選ぶ

➡ キャプション作成画面が表示されます。

● ［**設定取得**］を選ぶと、カメラに設定されているキャプションデータを取得します。

3 キャプションを入力する

- ASCII（アスキー）文字を 31 文字まで入力できます。

4 キャプションをカメラに設定する

- ［**カメラに設定**］を選ぶと、作成したキャプションがカメラに設定されます。

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

索　引

ま

や

ら



キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90002

受付時間：平日 9：00～20：00
土・日・祝日 10：00～17：00
（1月1日～1月3日は休ませていただきます）

※ おかけ間違いのないようにご注意ください。
※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9556をご利用ください。
※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによりつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

別紙の修理受付窓口でご確認ください。

キヤノンカメラサイトのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。インターネットをご利用の方は、お気軽にお立ち寄りください。

canon.jp/eos-d

この使用説明書は、2012年2月に作成したものです。それ以降に発売されたアクセサリー、レンズとの組み合わせにつきましては、上記のお客様相談センターにお問い合わせください。

CPX-J011-001